

日本工学院専門学校	開講年度	20年度	科目名	HOUSE4	
<b>科目基礎情報</b>					
開設学科	ダンスパフォーマンス科	コース名	全コース	開設期	後期
対象年次	2年次	科目区分	選択	時間数	30時間
単位数	1単位			授業形態	実習
教科書/教材	適時レジュメ・資料を配布する				
<b>担当教員情報</b>					
担当教員	SAM/PlnO/HERO	実務経験の有無・職種	有・プロダンサー		
<b>学習目的</b>					
この科目ではストレッチやアイソレーション等、ストリートダンスに必要な基本的な体の動きを学びます。またハウスのステップを確実に修得したうえで、作品作りではコンビネーションや様々なテクニックを学びます。					
<b>到達目標</b>					
HOUSEの基礎的な体の動きを土台とした応用的な表現方法をコンビネーションやルーティーンを通して理解する。音楽の中でグループを掴み表現する。					
<b>教育方法等</b>					
授業概要	ストレッチ、体幹トレーニングによる基礎体力作り、アイソレーションを通して体の動き理解する。 毎レッスンテーマにそった課題振付を反復練習する事でステップやコンビネーションを修得する。				
注意点	前回レッスンの動き・ステップ・振り付けを自主練習して実習に臨む事。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	0%			
	小テスト	0%			
	レポート	0%			
	成果発表 (口頭・実技)	50%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する		
平常点	50%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する			
<b>授業計画（1回～15回）</b>					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	SAM先生応用④	難易度の高いステップを組み合わせ時間内にグループで発表を行う			
2回	SAM先生応用⑤	時間内に基礎・応用を組み合わせたステップと振付を覚え、模擬オーディションを行う			
3回	SAM先生応用⑥	既定の振付に自分が得意なステップを組み合わせグループで発表を行う			
4回	PlnO先生応用④	ステップから基礎的なアクロバットへのスムーズな流れが実践できるようになる			
5回	PlnO先生応用⑤	ステップから難易度が高いアクロバットへの流れを実践し、グループで発表を行う			
6回	PlnO先生応用⑥	既定のステップと自由にアクロバットを各グループで構成し、グループで発表を行う			
7回	HERO先生応用④	既定のステップを複数の楽曲で踊り分け、音楽とリズムへの意識を高める			
8回	HERO先生応用⑤	グループに分かれ既定の振付を基にアレンジをし、発表をする			
9回	HERO先生応用⑥	変則的なリズムとステップも正確に表現ができるように実践する			
10回	卒業公演 振付①	振付師の考える楽曲・振付テーマ・表現したい内容を理解し、振付に取り組めるように準備する			
11回	卒業公演 振付②	ユニゾンパートの振付を練習する			
12回	卒業公演 振付③	ユニゾンパートの振付の精度をレベルチェックし、立ち位置を決める			
13回	卒業公演 振付④	オーディションを行いソロパート、少人数パートの出演者を決める			
14回	卒業公演 振付⑤	ソロ、少人数パートの振り入れを進め、ユニゾンパートに繋げる			
15回	レベルチェック	振付①～⑤までの精度を確認し、パート構成に臨む準備をする			